

わがまち まごめ

馬込管内世帯人口数

(令和5年12月1日時点)

- ・世帯数 31,285
- ・人口(男) 28,005
- ・人口(女) 28,971
- ・人口(計) 56,976

発行 地域力推進馬込地区委員会
事務局 馬込 特別出張所
〒143-0027 大田区中馬込3-25-5
☎(3774)3301(代)
ホームページアドレス(大田区役所大森地域)
<http://www.city.ota.tokyo.jp/omori/index.html>

幻の川の流れて沿って

馬込にも春の小川がありました

「春の小川はさらさら行くよ 岸のスミレやレンゲの花に……」昔の馬込には、歌にうたわれていたような小川がいくつも流れていました。今はどれも道路舗装の下になってしまいましたが、昔の流れを想像しながら春の散歩を楽しんでみませんか。

馬込は湧き水の多い所でした。台地の縁などから湧き出した水が集まって小川となり、大事な農業用水として、田畑で使われていました。かつて馬込のあちこちにあった「洗い場」も、湧き水を集めて池のようにして、収穫した野菜を洗って、きれいにして市場へ出すために活用されていました。

畑の間や道のわきを流れる小川は、やがて内川や呑川などの大きな流れに合流し、新井宿(今の大田区中央)から大森方面を通って海へと注ぎます。

内川の流れ

北馬込二丁目の宗福寺の下あたりから湧き出した水の流れが環七通りをくぐり、新幹線と横須賀線の線路下を抜けて、立正大付属中・高校の敷地から桜のpromナードへと続きます。寺郷公園の近くには、水源を示す石碑も立っています。

環七通りと横須賀線線路の間のかつての川は、きれいな遊歩道となり、絶好の散歩道となりました。遊歩道の終点近くには宮ノ下公園があります。ここにも以前は洗い場がありました。

川は遊歩道終点からまっすぐ線路下を抜けて流れますが、その左側、馬込橋寄りに線路をくぐるトンネルがあって、立正大付属中・高校側に出られま

す。

川は学校の敷地内を通り、第二京浜を馬込坂下歩道橋のあたりでくぐり、オートバックスの裏側から馬込区民センター下交差点を経由し、桜並木通りへと向かいます。これからの時期はこのあたり、お花見の絶好の場所となります。

毎年「馬込文士村大桜まつり」会場となる桜並木公園には、マンションに沿って北側に抜ける小道があります。この道は内川に流れる水路の跡で、今も北側の台地からの湧水が下を流れています。



内川は桜並木先の郵便局の右手から佐伯山緑地下より、大森日赤病院わきを通って池上通りをくぐり、東海道線の線路下で地上に現れ、東京湾へ向かいます。

谷中通り(環七通り)の流れ

環七通り馬込銀座交差点のあたりから春日橋に向かって、道路の中央に川が流れていました。東馬込や山王の方

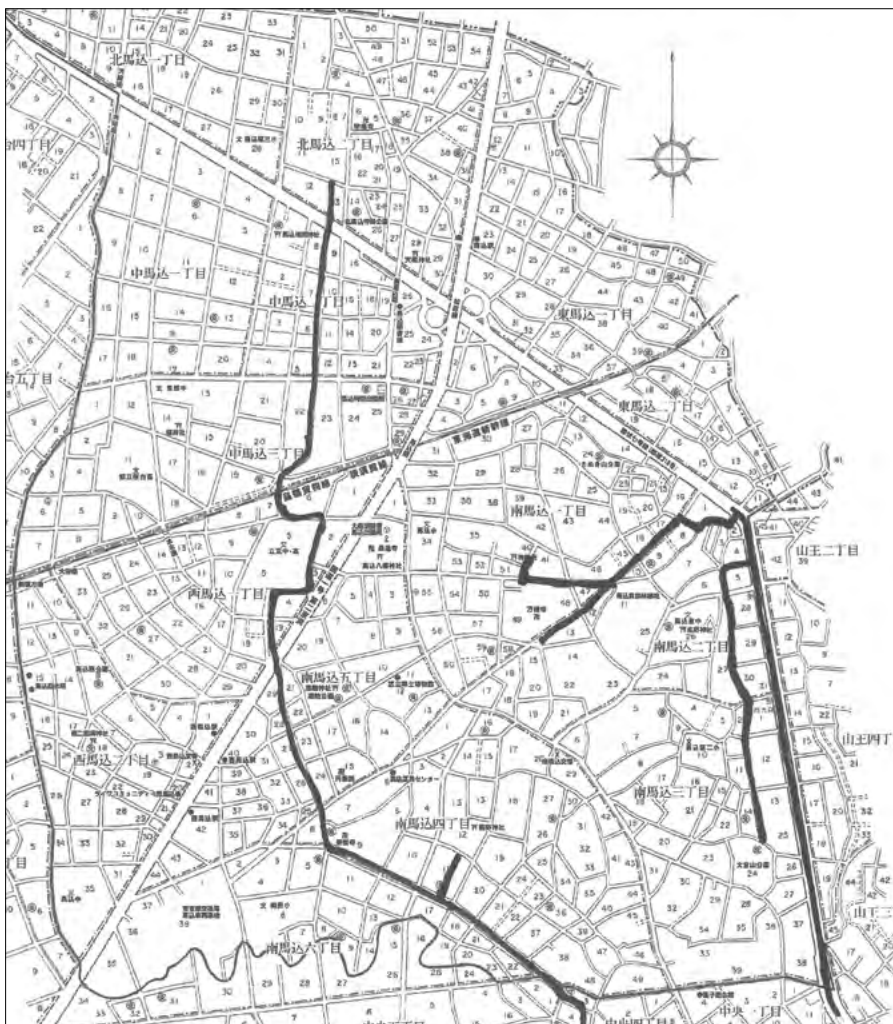
からも小さな流れが集まっています。馬込第二小学校わきのあさひが丘や天神山からの湧き水の小川が、馬込東中学校体育館前の道沿いに流れ、馬込銀座交差点へと向かっていました。萬福寺門前の道路沿いにも、近くの台地の裾から湧き出した流れが、馬込銀座の方に向かっていました。現在でも萬福寺門前の道では、流れのあった所を避けて、電柱が道の端から少し離れて立っているのがわかります。

馬込小学校校門前、以前消防署も並んでいた坂道にも、神明神社あたりからの湧き水が流れていて、坂の下で、萬福寺門前からの流れに合流して、馬込銀座交差点へと向かっていました。交差点にかかる歩道橋から見渡すと、大井出石方面や、現在ライフの建っている霜田方面の台地、たぬき山公園

から馬込東中学校に続く南馬込一帯の台地、大森駅からのジャーマン通り両側の山王の高台からの流れが、すべてこの馬込銀座交差点に集まる地形であることを実感させられます。

馬込の湧き水を集めた小川は、長い間、貴重な農業用水として使われてきました。田畑が宅地へと変わり、建物が増えてくると、生活排水の流れるドブ川になってしまったところも多くなりました。

昭和三十年代になると、道路の拡幅などで次々と川は暗渠となり、橋もなくなりしました。でもちよつと注意して見ると、小川のあった痕跡が馬込のあちこちで見つかります。花のたよりが聞こえてくるこの時期に、馬込の「春の小川」の跡をたどる散歩はいかがでしょうか。



南馬込うえだ公園の四季 花と果実の原っぱ公園



らせています。また梅、アンズ、枇杷、葡萄、柿、石榴、カリナなど実の生る樹木が多いのも特徴です。

春はレンゲ、菜の花、夏はカナナ、向日葵、立葵、秋はコスモスの畑が出現します。また、馬込半白節成胡瓜や綿の観察栽培も行っています。

うえだ公園で活動するもう一つのグループに「よりみちのいえ」があります。子どもたちが家庭や学校以外の場所でも、お友だちや地域のおとなと過ごせる場所を作ることを目指して2010年に発足しました。

ふだんのよりみちは毎月3回水曜日の14時半〜17時に「よりみちのいえ」のおとなたちが子どもたちの自由な遊びを見守っています。誰でも参加でき、参加費は原則無料です。また城南の家との協働で、最近では畑で育てた藍を使って藍染めをしたり、七夕飾り作り、ぶどうジュース作りなどを行いました。

ある朝公園を通ると、花壇を整えた後の花を花束にして「ご自由にどうぞ」とバケツに入れる粋な計らいがされていました。手入れをしてくださる方の愛情を感じ、ありがたく一束いただいで家に飾りました。

この公園は子どもたちが寝転んだり、草花遊びができるようクローバー、タンポポ、カラスノエンドウなど昔ながらの身近な草を茂



このように、城南の家のふれあいパーク活動と「よりみちのいえ」はうえだ公園をステージに季節の植物をとおして地域の子どもとおとなをつなげる大切な働きをしています。

ふれあいパーク活動や「よりみちのいえ」の活動予定は、公園入口に掲示されています。



菜の花の間引き作業

馬込情報

◎大田区野菜と花の品評会

令和5年11月26日、大田文化の森にて「第74回大田区野菜と花の品評会」が開かれました。君島祥允さんのシクラメンが最優秀賞を受賞。他の馬込からの出品で、城下万里奈さんの柿、城下美恵子さんの柿、波田野章さんのシクラメン、河原範雄さんのみかんが優秀賞を受賞。城下義章さんの大根が東京都知事賞を受賞しました。

◎南馬込中和会もちつき大会

3/10(日) 11時 熊野神社

◎寺郷町会花見&ごども会

3/31(日) 11時 北馬込寺郷公園

◎日赤献血にご協力を

3/14(木) 馬込特別出張所

3/15(金) ライフコミュニティ西馬込 受付時間(各会場とも) 10時〜11時15分 12時45分〜15時45分 (11時15分から12時45分までの間は受付できませんので、あらかじめご了承ください。)

◎龍子記念館 (TEL 3772・0680)

●名作展 大画面の奔流 川端龍子の「会場芸術」再考 令和6年3月20日(水・祝)〜6月9日(日)

◎馬込図書館 (TEL 3775・5401)

「馬込文士村資料展」令和6年3月23日(土)〜令和6年3月26日(火)

◎郷土博物館 (TEL 3777・1070)

●企画展「花香る おおたの梅林」愛でられる花々」令和6年1月23日(火)〜3月17日(日)

●企画展「新画面で春を寿ぐ」令和6年1月23日(火)〜3月17日(日)

●特集展示「森本六爾、おおたの横穴墓を掘る」令和6年1月23日(火)〜5月中旬予定

◎第34回馬込文士村大桜まつり

●令和6年4月7日(日) 12時〜16時半 雨天決行 会場：桜並木通り、桜並木公園

「大桜まつり」俳句の募集

馬込文士村大桜まつり会場で、大桜まつりにちなんだ俳句を募集します。応募方法：当日10時〜15時 桜並木公園内の本部前に設置される投函箱へ。住所、氏名、電話番号、年齢を記入。

入選作品発表：当日16時頃。当情報紙131号及び大田区ホームページに記載。

文芸

俳句

柿若葉雨にうたれて音もなし
日が落ちて十葉の花際立ちぬ
川柳

龍哲

詰め放題後一つで袋裂け
怖い目に遭つてもとめるヘルメット
ト
犬散歩可愛さ褒めるは犬ばかり

編集後記

最近、日本の四季に春と秋がなくなつた感じがするという声をよく聞きます。たしかに、昨年の暑さは長く続き、十一月でも夏のような日のあつたことを思い出しました。

それでも三月となると、町の中でも木々の様子や日ざしなどから、春の訪れがあらうこちらで感じられます。今では地の下を流れて見えなくなつてしまつた小川の様子からも、春が来たよと伝えられたものでした。

今号は、馬込の春の様子を、昔の小川の跡をたどる散歩と、南馬込四丁目のうえだ公園のご案内とご紹介しました。

「わがまちまごめ」も今号で130号となりました。これからも馬込のいろいろな情報をお知らせしていくつもりです。ご感想やご意見など、遠慮なくお聞かせください。

